



# 国際プラザニュース



発行: (公財)宮崎県国際交流協会 〒880-0805 宮崎市橘通東4-8-1 カリーノ宮崎地下1階  
Tel: 0985-32-8457 Fax: 0985-32-8512 E-mail: miyainfo@mif.or.jp ホームページ: <https://www.mif.or.jp/>  
開館時間: 10:00~19:00 [火曜~土曜] 休館日: 日曜・月曜・祝日・12月29日~1月3日

## 「外国人が見た宮崎」作品展 巡回展~県庁編 ~※無料

宮崎県に住む外国人の皆さんが「宮崎」をテーマにしたアート作品39点を展示します。  
外国人の方が見る「宮崎」をぜひご覧ください。

- ◇展示期間: 1月17日(水)~1月30日(火) 8:30~18:00
- ◇展示場所: 宮崎県庁 防災庁舎1階
- ◇出展作品: 写真、絵画、書道、手工芸
- ◇問合せ: (公財)宮崎県国際交流協会(担当: 曾地)



## 国際理解講座 ~アメリカ編~ in 都城市 「アメリカ南西部の多様性発見とTang Soo Do (韓国空手)を通じての学び」 ※無料・要申込み



アメリカ南西部の多様性について、アメリカ出身のセス・ランディス・スティールさんからお話ししていただきます。また、Tang Soo Do全米チャンピオンでもあるセスさんから韓国空手の解説もあります。みんなで体験しながら交流してみませんか？

- ◇日時: 令和6年2月3日(土) 14:30~16:30
- ◇場所: 都城市役所北別館2階 共有会議室
- ◇講師: セス・ランディス・スティール氏  
(都城市国際交流員)
- ◇共催: 一般社団法人 都城国際交流協会
- ◇定員: 15名(先着順)
- ◇参加費: 無料
- ◇申込方法: 氏名・住所・電話番号を、来館、電話、Faxまたはメールにてご連絡ください。  
Google formからお申込みいただけます。  
<https://forms.gle/8jr8fBkXjoTayhkV9>
- ◇締切: 令和6年1月20日(土)
- ◇申込・問合せ: (公財)宮崎県国際交流協会(担当: 新里)



## 「外国人住民による日本語スピーチコンテスト」 (県大会) ※観覧自由

県内で生活する外国人住民が日頃の日本語学習の成果を確認するために日本語でスピーチをするコンテストを開催します。  
一般の方も自由に見学することができます。

- ◇日時: 令和6年2月4日(日) 14時から16時まで
- ◇場所: 宮崎県企業局庁舎1階 県電ホール
- ◇出場者: 各地域大会の成績上位者
- ◇テーマ: 「みやざき」  
(宮崎の生活で感じたこと、母国への想い、将来の夢など)
- ◇スピーチの長さ: 3~5分
- ◇お問い合わせ: (公財)宮崎県国際交流協会(担当: 吉原)



## オンライン国際理解講座 ~アメリカ編~ ※無料・要申込み



### 「多民族国家アメリカを1.5世代の移民目線で学ぶ」

ベトナム系アメリカ人のジョン・リー・アディックス・オトゥール氏を講師に迎え、アメリカにおける移民の現状や課題、移民として抱えた葛藤、スケートボードを通じて世界とつながり、農村地域をサポートしてきた自身の体験をお話いただきます。

※講座は英語で行われますが、日本語の通訳が付きまます。

- ◇日時: 令和6年2月17日(土) 10:30~12:00
- ◇場所: オンライン (Zoomを使用します)
- ◇講師: John Le Addicks O' Toole 氏
- ◇参加費: 無料
- ◇申込方法: 下記のフォームからお申込みください。  
<https://forms.gle/SPeHtWKAjMfGtcqR9>



- ◇締切: 令和6年2月2日(金)
- ◇申込・問合せ: (公財)宮崎県国際交流協会(担当: 飯塚)

## 日本語れんしゅう会 ※要申込み、参加費無料

- ◇日時:  
[水曜日] 10:30~11:30  
1/10、1/17、1/24、1/31  
[金曜日] 10:30~11:30  
1/5、1/12、1/19、1/26
- ◇場所: カリーノ宮崎 地下1階
- ◇問合せ: (公財)宮崎県国際交流協会(担当: 吉原)



## スタッフのつぶやき

ヨーロッパで語学学校にいた頃のことです。  
中国からの友人とよく大学で勉強していました。  
ある日、ふたりで食事していた時のこと・・・通じかかった現地の友人に彼はC' est mon amie (セ モナ アミ)と私のことを紹介したのです。  
直訳では「私の友達です」ですが、現地での定番の意味は「私のパートナーです」つまりは「恋人」という意味になります。  
「あっ」とわたしは思いましたが、現地の友人はそそくさと行ってしまいました。時間が過ぎ、台湾からの女友達に「なんかふたり噂になっているのだけど」といわれました。その原因を思い出し、「しまった!」と思いました。友達が私を紹介した表現が誤っていて「恋人」と思われたのです。はっきりとただの友達と表すには「C' est une amie à moi」(セ テュン アミ ア モウ)「私の(たくさんいる中の)ある一人の友達」と表現します。英語で言う「One of my friends」と似ていますね。来仏して間もなかった彼を前におこがましいようですぐに説明できなかった自分を反省したのでした。  
(スタッフ:T)



## JICAデスク宮崎開設のお知らせ

宮崎県 国際協力推進員 西村真由美

皆さん、初めまして！  
国際協力推進員の西村真由美と申します。  
11月15日より、JICAデスク宮崎に着任いたしました。



国際協力推進員とは、地域におけるJICAの窓口です。自治体や学校、地元の企業等と連携しながら、地域での国際協力の取り組みを促進する役割を担います。各都道府県にいますが、宮崎では「JICAデスク宮崎」として、宮崎県国際交流協会に配置されています。

私は宮崎県五ヶ瀬町出身です。これまで、国際NGOのスタッフとして、紛争や災害により困難にさらされた人々の緊急～復興支援活動に従事。新潟や宮城、熊本などの国内被災地においても、復興や地域づくりに携ってきました。支援の現場では、厳しい状況のなかにあっても、強く優しく前を向く人々の姿に、いつもこちらのほうが勇気をもらいました。

宮崎にUターンしてきたので、これまでの各地での経験を、地元に戻元して参りたいと思います。何でもお気軽にご相談ください。これから、どうぞよろしくお願いいたします。

## 宮崎県国際プラザカウンターボランティア募集

国際プラザ業務のお手伝いをしてくださるカウンターボランティアを募集します。ご希望の方は申込書に必要事項をご記入のうえ当協会までお申し込み下さい。



- ◇対象：県内在住で18歳以上の方  
外国人の方は日本語の日常会話ができること
- ◇活動期間：2024年4月9日（火）～2024年9月28日（土）
- ◇活動日時：火曜日～土曜日のうち週1回、毎週同じ曜日・時間帯  
（①10:15～12:45、②13:00～15:30のいずれか）
- ◇活動場所：カーリーノ宮崎地下1階 宮崎県国際プラザ
- ◇内容：来館者対応、図書の出借と返却手続き、文書発送補助、図書・資料整理、使用済み切手等の整理と発送等
- ◇その他：交通費、謝金はありません。ボランティア保険は当協会が負担します。カーリーノ宮崎駐車場をご利用の場合は駐車券をお渡しします。
- ◇申込締切：3月2日（土）
- ◇申込み・問合せ：（公財）宮崎県国際交流協会（担当：飯塚）

## 国際交流員とのおしゃべり会♪ ※無料・要申込み

★ヘジョンさん：韓国出身（日本語・韓国語）



◇日時：①1月11日（木） 15:00～16:00  
②1月25日（木） 15:00～16:00

◇締切：①1月9日（火）②1月18日（木）

◇場所：カーリーノ宮崎 地下1階 宮崎県国際プラザ

◇定員：4名（参加回数の少ない方を優先し先着順）  
※申し込みは電話、来館、メールにて受け付けます。

◇申込み・問合せ：（公財）宮崎県国際交流協会（担当：飯塚）

## プラザニュース英語版より

県国際交流員 エイリー・ギャロウェイ



### “お別れの挨拶”

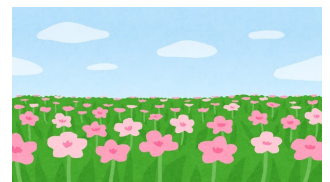
新年は多くの事をもらし、新たな章の始まりでもありません。私にとって、この新年は、新しい街へ移り住み、そこで日本での生活を続けることとなります。これがプラザニュースでの最後のコラムとなり、ついに宮崎を離れる時が来ました。

宮崎での滞在をどれだけ楽しみ、成長し、多くを学んだかは言葉では言い表せません。母国から遠く離れたこの街で私を歓迎し、アットホームに感じさせてくれた、これまで出会ったすべての人々ととても感謝しています。正直に言いますと、初めて宮崎に足を踏み入れるまで、宮崎が地理的にどこにあるのか、ましてや宮崎にある素晴らしいものについては全く知りませんでした。しかし、この県の魅力に気づき、すぐに足場を固めました。仕事の関係で、高千穂の山々から日南の海、えびの花々まで、県内を縦横に旅する機会がありました。毎日少しずつ日本語を上達させ、日本の文化や歴史を理解することができました。仕事でハンコを使ったり、神楽を生で観たり、日本に来なければできなかった事を沢山経験しました。

日本語には「居場所」という言葉がありますが、これは自分が属する場所を意味します。私は宮崎を離れることとなりますが、宮崎はいつも日本における私の「居場所」であり続けると感じており、また懐かしく訪れることを楽しみにしています。

宮崎の皆様、ありがとうございました！

Eilidh Galloway



## ♪プラザニュース 中国語版より

### 「2024年の楽しみ」



協会通訳ボランティア

張 勁恒(チョウケイコウ)



もうすぐ2023年が終わります。今年があっという間だったと毎年言っている気がします。

私ごとですが、2024年はとても楽しみなことがあります。両親が初めて宮崎に来るんです！行政書士としてビザ関連の仕事をしてきましたが、やっと両親のビザ申請が出来て嬉しく思います。そして両親をどこに案内しようか、何を食べてもらおうか、考えるだけでワクワクしています。岩にそびえたつ鶴戸神宮の神秘さ、青島神社で驚きの鬼の洗濯岩、真っ黒なのに美味しい地鶏の炭火焼き、見た目も美しい霜降りの宮崎牛。その他にもたくさんの魅力が詰まった宮崎を思う存分堪能してもらって。

遠く離れた場所にいる両親だからこそ、宮崎で楽しく元気に過ごしている姿をみてもらって、安心して欲しいなあと思います。故郷を離れて、日本で頑張っている外国人は、私と同じ感情でしょう！

皆さんはもしご家族が宮崎に来られるとしたらどこに行きますか？想像するだけで今日も頑張れそうですね。

